

事業所における自己評価

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		運動や制作等、用途によってグループの人数や配置を工夫しながら取り組んでいます。 戸外活動も積極的に取り組んでいます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		体調不良時等、個室にて対応しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		今後も職員が取り組める仕組み作りを指導・助言していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎年実施しております。事業所HPにて公開致します。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	実施できていませので、今後検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に研修を行っております。今後も積極的に研修や講演会に参加していきます。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		課題を整理し、ニーズや目標設定を行う時間を作っております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		全員で立案、アイデアを出し合い、企画しています。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		曜日毎にテーマを設けています。 土・祝日、長期休暇には、様々なイベントや行事を計画しています。また、子ども達からの希望を聞き入れ、活動へ取り入れることもあります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝、ミーティングにて確認しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後ではなく、翌朝に振り返りと当日のミーティングを行っています。緊急を要するものは、当日にミーティング、電話等で共有し、対応しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		記録と記録チェックを行い、漏れがないように気を付けています。また状況を詳しく記入し、確認が出来るようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		運動や制作、SST活動等、月ごとに計画し、目標を持って実施しております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		勤務体制を調整し、参加が出来るようにしております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		各機関との会議を通し、情報共有を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		送迎時に情報交換を行ったり、必要に応じて電話での対応を行っています。また、保護者を通して連携を図っております。また、ケース会議にも参加しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		お電話でお話を伺ったり、就学支援シートを活用し、情報共有しております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6		該当する事例がございません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		もっと多くの研修に参加できるよう、環境を整えていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	戸外活動時は、地域の方や地域の子どもたちと交流する機会があり、一緒に運動や水遊びを行うこともあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		参加出来ておりません。今後検討します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳でのやりとりや、送迎時、モニタリング時に行っております。また、必要に応じて、電話での情報交換を行っています。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		ご家庭でのお悩みや困りごと等の相談があった場合には、事業所での取り組みや成功事例をお伝えし、ご家庭での参考にして頂けるようにしております。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	契約時にお伝えしております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	随時連絡が取れるようにしており、迅速に対応が出来るようにしております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		コロナ禍で実施できませんでした。今後検討致します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	重要事項説明書にて窓口を説明・周知しており、苦情や相談があった際には迅速に対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	毎月活動予定表等、お便りを発行しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	お便りやSNS、写真等配慮しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	視覚的な配慮をしたり、1つずつ伝える等、わかりやすい方法を考えながら支援を行っております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		地域の行事に参加することはありますが、事業所に招待することはありませんでした。今後検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	各マニュアルは策定しています。事業所HPにも掲載しておりますので、ご覧下さい。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	計画を策定し、定期的に訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	アセスメント時に確認しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		現在は該当する児童がいません。今後必要に応じて対応いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	活動の中で、定期的に事業所での避難訓練や、消防署や防災センターの見学、体験学習を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		今後保護者等への周知を徹底していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	今後継続して行い、事故防止へとつなげていきます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	マニュアルの策定、社内研修を行っております。今後も定期的に行います。	研修頻度、内容の見直しに努めてまいります。

	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	6		今後も定期的に開催していきます。	
	55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			現在該当する児童はいませんが、手順の確認はマニュアルを通し、確認しています。